

第19回中和地域平和のつどい

核兵器はいらない!

平和の願いよ ニューヨークへ届け!!



日程： 3月27日(土)朝10時～夕方5時

3月28日(日)朝10時～夕方5時

場所： 奈良県広域^{じばさんぎょう}地場産業振興センター

J R高田駅東口徒歩1分、近鉄大和高田駅徒歩5分

【プログラム】

3月27日(土)

10:00～ 平和アニメ上映

12:00～ 喫茶コーナー

13:00～ 平和アニメ上映

< 上映案内 >

『おこりじぞう』『はとよひろしまの空を』
他、戦争の歴史や核戦争の実相を学べるシ
ョートアニメを上映します。

3月28日(日)

10:00～ 平和アニメ上映

11:00～ 講演とミニコンサート

核兵器をなくす国際会議に皆さんの声を届けます

講師：吉川周作氏（土庫病院副院長 NPT ニューヨーク
行動高田市民代表）

皆さんを代表して、大和高田市からNPT（核不拡散条約国際会議）の行わ
れるニューヨークへ向かう吉川先生からNPTの解説と、今どんな意味を持つ
のか、お話していただきます。

わたしの願いが届いてほしい

お話とチェロ演奏：山崎 隆氏

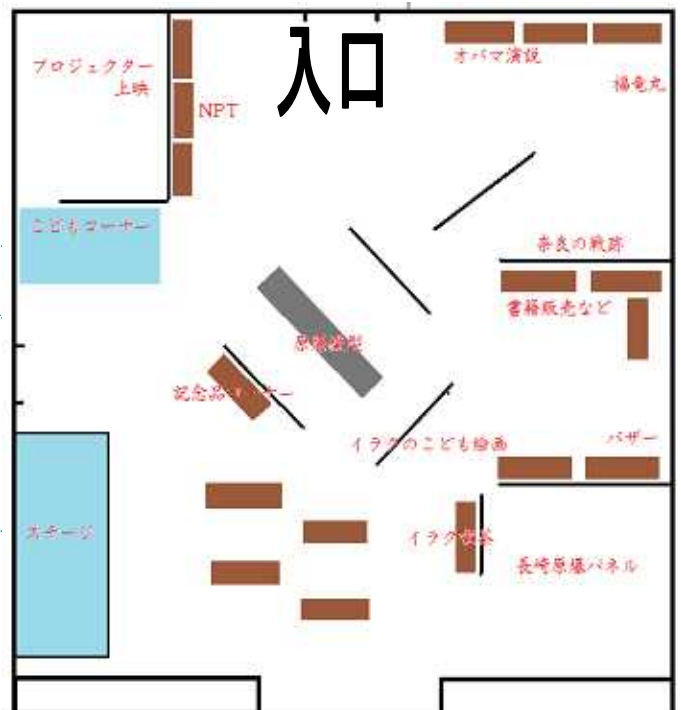
(元)大阪フィルハーモニー交響楽団 アンサンブル・エウテリア
自らが被爆された体験をもつチェロ奏者の山崎氏に、その被爆体験と核兵器廃絶の思
いをお話しいただきます。
また、長らく交響楽団での活動をされてこられました山崎氏のチェロ演奏もお楽しみ
ください。音楽は平和の力です。

12:30～ 喫茶コーナー

13:30～ 平和アニメ上映

【催し物】

平和パネル展
子ども平和アニメ上映
イラク料理の喫茶コーナー
バザー
ご来場の方に記念品の贈呈



第19回中和地域平和のつどい 出演者紹介

氏名 吉川周作

昭和34年2月27日生まれ(戦争知らない子供たち世代)

奈良県大和高田市にて生まれ育つ

1985年関西医科大学卒業

1986年奈良県立医科大学第一外科(現:消化器総合外科)入局

1994年健生会土庫病院赴任

2001年同副院長。

2009年消化器病センター所長

学会:日本外科学会

指導医・専門医

日本消化器外科学会

指導医・専門医

日本大腸肛門病学会

指導医・専門医・評議委員

日本内視鏡学会

指導医・専門医

など



医学博士、博士論文及び研究テーマは大腸シンチグラム検査を用いた直腸癌術後の排便機能や、排便障害についての報告を行ってきた

私は奈良医大第一外科からの派遣で1994年に土庫病院に赴任しました。稲次先生(健生会理事長:前大腸肛門病センター所長)のご指導のもと肛門疾患、消化管(胃がん、大腸がん)手術の手ほどきを受け現在に至っています。そんな稲次先生から2005年の丁度今頃に、「NPTの会議がニューヨークであるから行ってこないか?」って言われたんです。自分の頭の中ではNPT?ニューヨークで何するの?いつ?えっゴールデンウィーク?と様々な疑問や不安な気持ち、ほんのちょっぴりだけ期待?(何に?病院に出勤しなくてすむから?)こんな気分ではありましたが皆さんの支援を頂いてニューヨークまで行かせてもらうからにはしっかり何かをつかんで帰ろうと決意して行ったのが2005年NPT再検討会議に向けての集会への参加でした。これが私の平和への目覚めとなりました。その際に感じて考えたこと

1. 医療人として自分が手がけて元気になってもらえる患者様の数ってどれくらいだろう?一旦戦争になったら何人の罪もない人が死んでゆくだろう、しかも健康な方が。まして、原子爆弾なんてありえない
2. 上記のことを考えると医療に専念して自分のできることは精一杯やる。それにも増して平和維持、核兵器反対の運動も実診療に影響が出ない程度に頑張ろう。
3. いままで知らなかった、興味の無かった世界、多くの人はこの地味な活動を冷ややかではないがやや距離をおいて眺めているのでしょうか。自分もそうであったから。でも個人で何が出来る?仲間がいるじゃないか?職場、病院職員、平和委員会、民医連、反核医師の会、9条の会、原水禁、仲間は沢山いることに気づいた。

それ以降原水禁世界大会にも参加し平和委員会にも参加することで今こそ(戦争被害が忘れ去られそうになっている)若い世代に戦争の意味の無いこと、武力では解決できないこと、戦争がひきおこす様々悲惨な出来事を伝えなくてはいけないと感じています。現在我々の活動の実行委員のメンバーをみてちょっと安心しています。各年齢層が参加してくれています。若いメンバーも職場内でのやや強制的要因があるかもしれませんが多く参加してくれています。出来ることならこの輪を更に広げ小学校・中学校の教育の場で大いに論議され、今回の集いが平和な世界が続くための話題の提供機会、考える場、語る場、教えを請う場となれば幸いです。

また、この会では来る5月に開催されますNPT再検討会議2010に奈良県から23名が参加しますが、奈良民医連を代表して吉田病院の永松医師とともに参加させていただき予定になっております。2005年の際にはやや準備不足を感じて参加しましたが、今回は昨年のオバマ米大統領のプラハ演説もありNPTのアメリカの態度には大いに期待できるのではないかと感じています。日本から発する事の重要性を前回学んできました。その思いと皆様方の思いと署名を沢山持ってニューヨークに参りたいとおもっています。5月までもう少し時間がありますので更に平和の輪を広げ、もう一つ大きな輪にしてニューヨークに持って行きたいと思っておりますので今後ともご協力宜しくお願いします。



奈良は第二次大戦の戦災から免れたと言われているが、多くの戦争遺跡が残されている。東京や大阪のように爆撃に会ったという被害は少なかったとはいえ、機銃掃射による人の命が奪われたことや、迎撃の施設のあったことはあまり知られていない。

筆者はその痕跡を丹念に歩き、写真におさめている。中でも、座敷の鴨居に銃弾が埋め込まれている写真などは、逆に爆撃に会って消滅した大都会では見ることのできない貴重な写真であり、戦争の恐ろしさをまざまざと感じさせる。（2008年8月発行）

大和高田市長「メッセージ」

「第19回中和地域平和のつどい」が、かくも盛大に開催され、核兵器廃絶と世界の恒久平和の実現に向けた、皆様の取り組みに深く敬意を表します。核を巡る昨今の世界情勢は、アメリカ・オバマ大統領のブラハでおこなわれた演説が、ひとつのきっかけとなり世界の人々が賛同し核兵器廃絶に向けて大きな前進となりました。

しかしながら、今なお、地域紛争や国際テロなど、平和を脅かす事態が止まず、また、新たな核兵器の開発や核実験など憂うべき状態が続いています。

このような中、今年5月に、ニューヨークで開催予定の「核不拡散条約再検討会議」が再開されますことは、大変意義深いものと考えております。

世界で唯一の被爆国として、核の悲惨さを一番よく知っております我々の核兵器廃絶の願いが、この会議で再認識されること熱望しているところであります。大和高田市におきましても、昭和60年に「非核・平和都市宣言」が決議され、また、広島市と長崎市が主催する「平和市長会議」に奈良県で2番目に賛同加盟をいたしました。

この「平和市長会議」の検討会議での採択を目標とする「ヒロシマ・ナガサキ議定書」にも署名をし、非核三原則の完全実施とあらゆる核兵器の全面廃絶、更に世界の恒久平和への願いを内外に発信しております。

「中和地域平和のつどい」が今後とも、核兵器の廃絶と世界の恒久平和の実現のための大きな力となり、いっそう発展されますことを祈念申し上げまして、私のメッセージといたします。

平成22年3月27日
大和高田市長 吉田 誠克

主 催

第19回中和地域平和のつどい実行委員会

実行委員長 山田 磯子（さざんか法律事務所弁護士）

後 援

大和高田市 大和高田市教育委員会 読売新聞大阪本社 奈良新聞社 奈良日日新聞社
朝日新聞奈良総局 毎日新聞奈良支局 産経新聞社奈良支局 中和新聞社